

# ナノマテリアル情報提供シート (記載例及び記載上の注意)

提出年月日	年一回程度、情報の更新をお願いする予定です。
材料名	GNT、二酸化チタン、カーボンブラック、フラーレン、酸化亜鉛、シリカの別を記載願います。なお、上記6物質以外の情報提供も歓迎します。
事業者名	情報提供を行う事業者名を記載してください。原則個別企業単位としますが、業界団体単位での提出希望がございましたら、ご相談下さい。
法人番号	情報提供を行う事業者の法人番号を記載してください。原則個別企業単位としますが、業界団体単位での提出希望がございましたら、ご相談下さい。

事業者において二物質以上のナノマテリアルを製造している場合には、物質毎にシートを作成してください。なお、試験研究用途については、対象としません。

## 作成上の注意

1. 本制度の趣旨は、現時点でナノマテリアル製造事業者等が保有する情報について提供をお願いするものであり、新たに試験・計測等を行うことを求めるものではありません。
2. ナノマテリアル製造事業者等が保有していない情報については、記載する必要はありません。
3. 公表の可否について、項目毎に選択してください。
4. 計測手法については必ずしも標準化されていないため、ナノマテリアル製造事業者等が独自に開発した手法等であっても、測定法の概要を明示した上で記載することができます。
5. 既存資料等の添付によって代用することも可能です。

連絡先:					
項目	概要	添付資料	備考 (測定方法等)	公表の可否	
1. SDSの添付		代表的な製品のSDSを添付してください。 (SDS以外にも、自主的に作成されている安全指針等も可。)			
※代表的な製品のSDSを添付		添付有			
2. ナノマテリアルの特性		代表的な製品について記載。情報を保有していない、測定不能等の場合には、当該項目をエクセル上で行毎削除してください。			
特性	ナノマテリアルの特性について可能な範囲で記載してください。(例：紫外線遮蔽効果、電子的特性等) (ナノオーダーのサイズに由来する特性だけではなく、微粒子であることに由来する性質についても記載。)	添付有		本シートの他に、参考資料を添付される際は、「添付有」を選択してください。 (公開情報であれば、出典等を記載)	
有害性情報	事業者が保有する有害性情報等について記載。学術論文等公開されている情報があれば、出典等を記載してください。(当該物質の一般的な(ナノサイズかどうか)に依らず、粉じんとしての)有害性情報についても併せて記載。)	添付有		経済産業省HP上で公開できない情報については、「非公表」を選択してください。	
結晶構造	例：乱層黒鉛構造	添付無			
凝集状態／分散状態	根拠となるデータが存在しない場合、定性的な記載でも可とします。(例：製剤中や空気中ではミクロンオーダーの凝集状態で存在し、容易に一次粒子に分解しない、等)	添付有		グラフ等を添付してください。凝集状態を示す電子顕微鏡写真等があれば添付してください。	
粒度分布	グラフ等を添付してください。	添付有		測定方法、測定原理等を記載してください。	
平均一次粒径	記載例：製品のグレードにより異なるが、20-80nm程度	nm	添付有		測定方法、測定原理等を記載してください。
製品粒径	記載例：製品のグレード、表面処理等により異なるが、1μm程度	nm	添付有		測定方法、測定原理等を記載してください。

製品形状	製品中における粒子の形状を記載してください。一次粒子の形状については、球状、針状等、凝集体として存在する場合であれば繭状、不定形等と記載してください。また、製品の外観（粉体状、スラリー状、樹脂に混練）も併せて記載して下さい。	添付有		
密度	製品中の高密度を記載してください。高密度についてデータがない場合には、真密度について記載して下さい。	g/cm <sup>3</sup>		
比表面積		m <sup>2</sup> /g		
表面電荷	測定データがあれば記載してください。	mV		
化学組成	例：炭素、二酸化チタン、酸化亜鉛、二酸化ケイ素等			
その他物理化学的特性（気孔率、拡散、重力沈降、収着、湿式及び乾式移動、酸化還元と光化学反応の影響、土壤中の移動性等）	その他物理化学的性状について、データがあれば記載してください。			

### 3. ばく露情報

#### (1) 製造・輸入に関する情報

製造・輸入量 (年度毎)	例： 1 2 0 0 (令和3年度)	t	令和3年度のデータを記載してください。	製造量	非公表
			非公表データとしますので、「製造量」又は「輸入量」を記載してください。		
製造・輸入量 (年度毎・概数)	1,000-10,000 t			製造量	
				「生産能力」も選択可能ですが、出来る限り「製造量」又は「輸入量」を記載してください。	

(2) ばく露情報

代表的な用途について記載してください。用途開発中等、ごく少量のみが使用されている用途については、記載する必要はありません。

主な用途	主な用途① 用途分類 118 詳細分類 a			
	主な用途② 用途分類 109 詳細分類 e			
	主な用途③ 用途分類 145 詳細分類	用途、詳細用途については、別紙分類コードから選択してください。		
	主な用途④ 用途分類 104 詳細分類 f			
	主な用途⑤ 用途分類 詳細分類			
製造・加工施設及びプロセス	製造プロセスの概略図を添付してください。反応温度等、プロセスの詳細に関わる事項は記載する必要はありません。	添付有		
労働者のばく露情報 (ばく露対象者、ばく露活動・時間等)	ばく露の可能性のある作業（包装作業等）に従事する作業者の数、延べ作業時間等を可能な範囲で記載してください。	添付有		「4. リスク評価・管理の状況」と重複する内容(ばく露防止対策等)を追記することも可。
環境排出量	モニタリング等により、排出量を直接把握、マテリアルバランスにより排出量を推計、廃棄物の量を記載するなど、可能な範囲で記載してください。	添付有	推計方法を明記してください。	
計測技術と計測結果	作業環境中でのモニタリング結果を添付。ナノサイズの粒子に特化した測定が行われていない場合には、労働安全衛生法等に基づく粉じん測定の結果等、既存の測定データを添付してください。	添付有		測定結果について、数値を記載できない場合には、「管理区分1」程度の結果でも可。

4. リスク評価・管理の状況

リスク評価結果	ガイドライン等に沿って、ナノマテリアルに特化したリスク評価を実施している場合、その旨と具体的な内容についても記載してください。	添付有		
ばく露・排出抑制対策	ナノマテリアルに特化したばく露・排出抑制対策が行われていれば、その旨記載してください。なお、労働安全衛生法（粉じん則）、厚生労働省局長通知等に基づいた対策を実施している場合、その旨と具体的な対策の内容についても記載してください。	添付有		
労働者への教育	ナノマテリアルに特化した労働者への教育が行われていれば、その旨記載してください。また、労働安全衛生法等、既存の規制に基づくものであっても、ナノマテリアルのばく露防止対策に共通して有効であると考えられる場合には、その内容も記載してください。	添付有		

<p>今後の対策等のロードマップ</p>	<p>上記対策の他に、今後実施予定の対策等があれば、その内容について記載してください。</p>	<p>添付有</p>		
<p>5. ナノマテリアルの性質等に関する事業者のコメント（ユーザに対するアドバイス等）</p>				
	<p>安全性だけでなく、ナノマテリアルについて、その特性を活かした将来の可能性等やユーザーに取り扱っていただく際のアドバイス等、自由に記載してください。</p>	<p>添付有</p>		
<p>6. その他</p>				
	<p>その他、事業者として記載すべきことがあれば、自由に記載してください。</p>	<p>添付有</p>	<p>本報告様式で公開する情報を引用する場合に、事業者の許可が必要であれば、その旨記載してください。</p>	

化学物質用途分類表

用途番号	用途分類	詳細用途番号	詳細用途分類
中間物			
101	中間物	a	合成原料、重合原料、プレポリマー
		b	重合開始剤
		z	その他
溶剤			
102	塗料用、ワニス用、コーティング剤用、インキ用、複写用又は殺生物剤用溶剤	a	塗料用溶剤、塗料希釈剤
		b	塗料剥離剤
		c	ワニス用溶剤
		d	コーティング剤用溶剤、レジスト塗布用溶剤
		e	インキ用溶剤、電子デバイス用溶剤、インキ洗浄剤、複写用溶剤
		f	殺生物剤用溶剤
		z	その他
103	接着剤用、粘着剤用又はシーリング材用溶剤	a	接着剤用溶剤、粘着剤用溶剤
		b	接着剤剥離用溶剤、糊剥離用溶剤
		c	接着用溶剤
		d	シーリング材用溶剤
		z	その他
104	金属洗浄用溶剤	a	金属洗浄用溶剤(塩素系)
		z	その他
105	クリーニング洗浄用溶剤	a	ドライクリーニング溶剤
		b	染み抜き溶剤、ドライクリーニング溶剤抽出剤
		z	その他
106	その他の洗浄用溶剤(104及び105に掲げるものを除く。) [#104,105を除く]	a	レジスト現像用溶剤、レジスト剥離用溶剤
		z	その他
107	工業用溶剤(102から106までに掲げるものを除く。) [#102-106を除く]	a	合成反应用溶剤
		b	紡糸用溶剤、製膜(成膜)用溶剤
		c	分離・精製用溶剤
		d	希釈溶剤
		z	その他
108	エアゾール用溶剤又は物理発泡剤	a	エアゾール噴射剤、希釈剤
		b	物理発泡剤
		z	その他
109	その他の溶剤(102から108までに掲げるものを除く。)	z	その他の溶剤
溶剤以外			
110	化学プロセス調節剤	a	触媒、触媒担体
		b	イオン交換樹脂、イオン交換膜、分離膜、隔膜、濾過補助剤(脱蠟助剤等)
		c	乳化剤、分散剤
		d	重合調節(停止)剤、重合禁止剤、安定剤
		e	光学分割剤
		z	その他
111	着色剤(染料、顔料、色素、色材等に用いられるものをいう。) [#112,113,115,116,125,126,129を除く]	a	着色剤(染料、顔料、色素、色材)
		b	蛍光増白剤
		c	発色剤、発色助剤
		z	その他
112	水系洗浄剤(工業用のものに限る。) [#125,126,129,130,133を除く]	a	界面活性剤(石鹼・合成洗剤用)
		b	無機アルカリ、有機アルカリ、無機酸、有機酸、漂白剤
		c	ビルダー(キレート剤、再付着防止剤等)、添加(補助)剤(消泡剤等)
		d	防錆剤
		z	その他
113	水系洗浄剤(家庭用又は業務用のものに限る。)	a	界面活性剤(石鹼・合成洗剤・ウインドウワッシャー液用)
		b	柔軟剤
		c	無機アルカリ、有機アルカリ、無機酸、有機酸、漂白剤
		d	ビルダー(キレート剤、再付着防止剤等)、添加(補助)剤(酵素、蛍光増白剤、紫外線吸収剤等)
		e	香料
		z	その他
114	ワックス(床用、自動車用、皮革用等のものをいう。)	a	ワックス
		b	乳化剤、分散剤
		z	その他
115	塗料又はコーティング剤 (プライマーを含む。) [#114, 117, 125-131, 135, 138を除く]	a	塗料用樹脂、コーティング剤用樹脂
		b	着色剤(染料、顔料、光輝剤)
		c	ハインダー成分前駆体(熱・光硬化塗料のモノマー・オリゴマー・プレポリマー等)
		d	架橋剤、硬化剤、増感剤、重合開始剤、光酸発生剤、光塩基発生剤
		e	可塑剤、充填剤
		f	安定化剤(酸化防止剤等)
		g	皮張り防止剤、増粘剤、消泡剤、ブロッキング防止剤、平滑剤、導電性改良剤
		h	乳化剤、分散剤、濡れ剤、浸透剤、表面調整剤、造膜助剤
		i	腐食防止剤、防錆剤、防腐剤、防かび剤、抗菌剤
		j	乾燥促進剤、湿潤剤、難燃剤、撥水剤
		z	その他
116	インキ又は複写用薬剤 (レジストインキを除く。)	a	インキ用樹脂、トナー用樹脂
		b	着色剤(染料、顔料、色素)、感熱色素、感圧色素、蛍光増白剤、顕色剤
		c	紫外線・電子線硬化インキのモノマー・オリゴマー・プレポリマー、増感剤、重合開始剤
		d	可塑剤、充填剤
		e	安定化剤(酸化防止剤等)
		f	皮張り防止剤、増粘剤、消泡剤、ブロッキング防止剤
		g	乳化剤、分散剤、濡れ剤、浸透剤、造膜助剤
		h	電荷制御剤、流動性付与剤、研磨性付与剤、濡り性付与剤
		i	乾燥促進剤、湿潤剤
		z	その他
117	船底塗料用防汚剤又は漁網用防汚剤	a	防汚剤用樹脂[添加剤も含む]
		b	船底塗料用防汚剤
		c	漁網用防汚剤
		z	その他
118	殺生物剤(成形品に含まれるものに限る。) [#115,117,123,125,136,137を除く]	a	殺菌剤、殺虫剤、防腐剤、防かび剤、抗菌剤(細菌増殖抑制剤、木材の防腐剤、防蟻剤)
		b	展着剤、乳化剤、分散剤
		z	その他

用途番号	用途分類	詳細用途番号	詳細用途分類
119	殺生物剤(工業用のものであって、成形品に含まれるものを除く。) [#126.140を除く]	a b c d z	不快害虫用殺虫剤(害虫駆除剤、昆虫誘引剤、共力剤) ガス滅菌剤、燻蒸剤、燻煙剤 殺菌剤、消毒剤、防腐剤、抗菌剤 展着剤、乳化剤、分散剤 その他
120	殺生物剤(家庭用又は業務用のものに限る。)	a b c d e f z	不快害虫用殺虫剤(害虫駆除剤、昆虫誘引剤、共力剤) 繊維用・紙用防虫剤 シロアリ駆除剤、防蟻剤 殺菌剤、消毒剤、防腐剤、防かび剤、抗菌剤、除菌剤 非農耕地用除草剤 展着剤、乳化剤、分散剤 その他
121	火薬類、化学発泡剤又は固形燃料	a b c d z	火薬、爆薬、火工品[#121-bを除く]、煙火 自動車安全部品用ガス発生剤 化学発泡剤 固形燃料 その他
122	芳香剤又は消臭剤 [洗浄剤用香料は#113]	(廃止) b c d e z	(廃止) 芳香剤 消臭剤 乳化剤、分散剤 香料[#113-e及び#122-b, cを除く] その他
123	接着剤、粘着剤又はシーリング材	a b c d e f g h z	接着剤用樹脂、粘着剤用樹脂、シーリング材用樹脂 バインダー成分前駆体(モノマー・オリゴマー・プレポリマー等、硬化剤、硬化促進剤、開始剤、カップリング剤) 可塑剤、充填剤 安定化剤(老化防止剤等) 皮膚り防止剤、増粘剤、消泡剤、ブロッキング防止剤、平滑剤 表面調整剤、乳化剤、分散剤 防腐剤、防かび剤、抗菌剤 難燃剤、導電剤 その他
124	レジスト材料、写真材料又は印刷版材料	a b c d e f g h z	感光性・感電子性樹脂(レジスト、印刷版等) 感光性・感電子性樹脂のモノマー・オリゴマー・プレポリマー 感光剤、光重合開始剤、光酸発生剤、光塩基発生剤 色素形成カプラー(カラー写真用) 乳化剤、分散剤 展着剤、安定化剤 硬化剤、増感剤、減感剤、架橋密度向上剤、重合開始剤、レジスト添加剤 現像剤、水溶性処理薬剤、レジスト剥離剤 その他
125	合成繊維又は繊維処理剤	a b c d e f g h i j k l m n o p q r z	成形品基材(合成繊維、不織布) 着色剤(染料、顔料)、蛍光増白剤 集束剤 防炎剤、難燃剤 含浸補強剤、染料固着剤(フィックス剤) 帯電防止剤、親水加工剤 柔軟仕上げ剤 形態安定加工剤 撥水剤、撥油剤、防水加工剤、防汚加工剤 抗菌剤、変色防止剤、紫外線吸収剤 紡糸・紡績・織編油剤、紡糸・紡績・織編油助剤 洗浄剤、精練洗浄剤(ソービング剤)、潤滑剤 キレート剤 漂白剤、抜染剤 均染剤、浸透剤、促染剤(染色助剤)、媒染剤、捺染用糊剤 乳化剤、分散剤、消泡剤 マーセル化助剤 糊抜き剤 その他
126	紙製造用薬品又はパルプ製造用薬品	a b c d e f g h i j k z	着色剤(染料、顔料)、蛍光増白剤 サイズ剤、定着剤、填料 コーティング剤 防炎剤、難燃剤、帯電防止剤 紙力増強剤、歩留向上剤、固着剤(フィックス剤)、防錆剤 撥水剤、撥油剤、防水加工剤 高粘剤、柔軟剤 蒸解薬液、pH調節剤 スライムコントロール剤(防腐剤)、ピッチコントロール剤 漂白剤、漂白浴安定剤 乳化剤、分散剤、消泡剤、脱墨剤、洗浄剤 その他
127	プラスチック、プラスチック添加剤又はプラスチック加工助剤 [#115-a,116-a,123-a,124-a,125-a,128-aを除く] [着色剤は#111、物理発泡剤は#108、化学発泡剤は#121]	a b c d e f g h i j k l m n v z	成形品基材(プラスチック、合成皮革・人工皮革、合成紙、発泡体) 高吸水性材料 可塑剤、乳化剤、分散剤 安定化剤(酸化防止剤等) 充填剤、希釈剤、ポリマー分解促進剤 結晶核剤 内部滑剤、内部離型剤 防曇剤、流滴剤、撥水剤 難燃剤、帯電防止剤、波長変換剤 外部滑剤、外部離型剤 ラジカル発生剤 反応注型用・注型発泡用材料(モノマー・オリゴマー・プレポリマー等) 硬化剤、架橋剤(FRP用モノマー・オリゴマー・プレポリマー等)、架橋助剤、増感剤、重合開始剤 硬化促進剤 その他の添加剤(改質剤等) その他

用途番号	用途分類	詳細用途番号	詳細用途分類
128	合成ゴム、ゴム用添加剤又はゴム用加工助剤 [着色剤は#111、物理発泡剤は#108、化学発泡剤は#121]	a b c d e f g h i (廃止) k v z	成形品基材(エラストマー(合成ゴム)) 加硫促進剤、加硫促進剤助剤(加硫活性化) 加硫剤、架橋剤、架橋助剤 可塑剤、補強材(接着促進剤等)、充填剤、プロセス油の基油・添加剤 安定化剤(老化防止剤等) スコーチ防止剤、素練促進剤、内部滑剤、内部離型剤 ラテックス凝固剤、乳化剤、分散剤、沈降防止剤 難燃剤、帯電防止剤、波長変換剤 外部滑剤、外部離型剤 (廃止) ゴム再生剤(脱硫剤等) その他の添加剤(改質剤等) その他
129	皮革処理剤 [#114を除く]	a b c z	なめし剤 仕上げ加工薬剤(漂白剤、着色剤、着色助剤、撥水剤、撥油剤、油剤、脱脂剤、加脂剤等) 準備工程(なめし前)薬剤(脱脂剤、脱灰剤等) その他
130	ガラス、ほうろう又はセメント [着色剤は#111]	a b c d e f g h i z	ガラス調合・成形原材料 ガラス添加剤(強化剤、集束剤、防曇剤、紫外線カット剤等) ガラス加工助剤(離型剤、pH調節剤等) ほうろう調合・成形原材料 ほうろう添加剤(絵付け用転写剤、フリット配合薬剤等) ほうろう加工助剤(中和剤、ニッケル処理剤等) セメント調合原料 セメント添加剤(混合材、膨張剤、固化剤等) セメント加工助剤 その他
131	陶磁器、耐火物又はファインセラミックス [着色剤は#111、電子用ファインセラミックスは#138、#139]	a b c d z	陶磁器・耐火物・ファインセラミックスの調合・成形原材料 陶磁器添加剤、耐火物添加剤、ファインセラミックス添加剤(焼結助剤等) 成形助剤(バインダー、増粘剤、可塑剤、潤滑剤、乳化剤、分散剤等) 滑剤、離型剤 その他
132	研削砥石、研磨剤、摩擦材又は固体潤滑剤 [着色剤は#111]	a b c z	研削砥石・研磨剤・摩擦材・固体潤滑剤の調合・成形原材料 研削砥石・研磨剤・摩擦材・固体潤滑剤の添加剤(バインダー、増粘剤、研磨助剤、乳化剤、分散剤、摩擦調整剤、潤滑剤等) 滑剤、離型剤 その他
133	金属製造加工用資材 [金属の合成原料は#101、着色剤は#111、表面処理は#134、溶接・ろう接は#135、金属加工油は#137]	a b c d z	金属用添加剤(接種剤等) 加工助剤(フラックス等) 鑄造用粘結剤、鑄造用硬化剤、鑄造用添加剤 鑄造用離型剤、鑄造用塗型剤 その他
134	表面処理剤 [#104-106,112-117,123-132,138,144を除く]	a b c d e f g z	めっき薬剤(皮膜成分原料) めっき浴添加剤(光沢付与剤、煙霧防止剤、無電解めっきの還元剤等) 化成処理薬剤 真空めっき(蒸着等)薬剤、溶射処理薬剤 表面硬化処理(浸炭、窒化等)薬剤 表面フッ素化処理薬剤、表面シリル化処理薬剤 エッチング処理薬剤、スパッタリング処理薬剤、プラスト処理薬剤 その他
135	溶接材料、ろう接材料又は溶断材料	a b c z	溶接フラックス ろう接フラックス(酸化防止剤等) 溶接用ガス、溶断用ガス その他
136	作動油、絶縁油又は潤滑油剤 [プロセス油の基油・添加剤は#128] [#137を除く]	a b (廃止) d e f (廃止) z	作動油の基油、潤滑油剤の基油 絶縁油の基油 (廃止) グリース増ちょう剤 作動油添加剤、潤滑油剤添加剤 絶縁油添加剤 (廃止) その他
137	金属等加工油又は防錆油	a b c d z	水溶性金属加工油の基油 不水溶性金属加工油の基油、防錆油の基油 水溶性金属加工油添加剤 不水溶性金属加工油添加剤、防錆油添加剤 その他
138	電気材料又は電子材料 (添加剤とプロセス加工助剤を含む。) [#139を除く] [絶縁油は#136]	a b c d e f z	磁性材料[#138-fを除く]、導電材料、超電導材料、蛍光体材料 半導体材料、有機半導体材料、液晶材料 誘電体材料、抵抗体材料、固体電解質材料、電解液材料、セパレータ材料 光導波路材料(光ファイバを含む)、光学フィルム材料、電子機器用光材料 封止材、絶縁材料、シールド材料 電子記憶媒体材料(磁性材料、光吸収色素等) その他
139	電池材料(一次電池又は二次電池に用いられるものに限る。)	a b z	電解質材料、電解液材料、絶縁材料、セパレータ材料 電極材料(活物質、集電体、導電剤、バインダー等)、減極剤 その他
140	水処理剤	a b c d e z	腐食防止剤、防錆剤、防食剤、防スケール剤、防藻剤 金属イオン捕捉剤、金属イオン封鎖剤、硬水軟化剤 イオン交換体(有機及び無機イオン交換体)、分凝膜 酸化剤、還元剤、pH調節剤 消泡剤、凝集剤、濾過助剤、脱水助剤、イオン交換樹脂再生剤 その他
141	乾燥剤又は吸着剤	a b c z	乾燥剤、脱水剤 吸着剤(脱臭剤、脱硝剤、ガス吸着剤等) 吸収剤(脱酸素剤等) その他
142	熱媒体	a b z	冷媒、冷却剤 熱媒、加熱剤 その他

用途番号	用途分類	詳細用途番号	詳細用途分類
143	不凍液	a	不凍液(LLC等)
		b	防錆剤、防食剤
		z	その他
144	建設資材又は建設資材添加物	a	表面硬化剤
		b	コンクリート混和剤(強化剤、減水剤)
		c	離型剤、消泡剤
		d	木材補強含浸剤、木質板添加剤
		e	防汚剤(#117-b,cを除く)、防水剤、撥水剤
		f	建設資材
z	その他		
145	散布剤又は埋立処分前処理薬剤	a	凍結防止剤(融雪剤等)
		b	土壌改良剤、地盤改良剤
		c	消火剤
		d	人工降雨剤
		e	油処理剤
		f	粉塵結合剤、粉塵防止剤、煤塵処理剤
z	その他		
146	分離又は精製プロセス剤 (鉱業又は金属製造業に使用されるものに限る。) [分離・精製用溶剤は#107]	a	浮選剤(捕収剤、起泡剤、条件剤)、金属浸出剤
		b	凝集剤、乳化剤、分散剤、金属捕捉剤
		z	その他
147	燃料又は燃料添加剤  [固形燃料は#121]	a	燃料
		b	燃料添加剤(清浄分散剤、酸化防止剤、粘度指数調整剤、摩擦低減剤、防錆剤等)
		c	燃焼改良剤(燃焼促進剤、セタン値向上剤、アンチノック剤等)
		d	氷結防止剤、着臭剤
		z	その他
上記以外			
198	その他の原料、その他の添加剤	z	その他の原料、その他の添加剤
199	輸出用のもの	a	輸出用のもの